

漁業を続けるために「ぎょさい」と「積立ぷらす」

漁業者が将来にわたって持続的に漁業経営を維持し、水産物の安定供給を行っていくためには、適切な資源管理・漁場改善を行い、資源の維持・増大に向けた漁業者の取り組みが必要不可欠です。

こうした取り組みを実行するには、関係する漁業者全員が、計画的に、かつ継続して行っていくことが肝要ですが、反面、収入の減少や経費の増大など厳しい漁業経営に直面する場合があります。漁業経営が不安定になると、各種の取り組みの効果が現れる前に、その実行・継続が困難になることも考えられ、このような事態に対応するため、国は計画的に資源管理に取り組む漁業者に対し、資源管理・収入安定対策事業（「ぎょさい」と「積立ぷらす」）を実施しています。

この事業は、漁業者から高い評価を得、現在、全国の各浜に浸透し続けています。こうした状況を具体的な事例により紹介した『資源管理・収入安定対策を活用した資源管理と漁業経営について～事例の紹介～』を、水産庁が取りまとめました。この報告書では、青森県 野牛漁協の小型いか釣漁業における資源管理の取り組み等の事例が紹介されており、ぎょさいと積立ぷらすへの加入は漁業経営の安定に大きく貢献し、漁業収入が変動した場合でも、地区の漁業者が継続的に資源管理に取り組むことができたと報告されています。

この報告書は水産庁のHP（<http://www.jfa.maff.go.jp/form/pdf/h25jireisyuu.pdf>）で公開されておりますので、是非ご一読頂ければ幸いです。

一人でも多くの漁業者に「ぎょさい」と「積立ぷらす」を利用して頂き、漁業者の皆様が末長く漁業を継続して頂けるよう、行政、共済団体が一丸となって、今後とも加入推進を行って参りますので、なお一層の加入をよろしく申し上げます。

平成 26 年度の加入実績（7 月末累計）（単位：百万円）

区 分	ぎょさい（共済金額）			積立ぷらす（漁業者積立額）		
	26 年度	25 年度	前年比	26 年度	25 年度	前年比
漁 獲 共 済	52,246	47,108	111%	2,376	2,062	115%
養 殖 共 済	146,077	132,104	111%	4,387	2,648	166%
特 定 養 殖 共 済	1,561	1,280	122%	82	66	125%
漁 業 施 設 共 済	5,325	4,810	111%			
地 域 共 済	2,044	2,558	80%			
合 計	207,254	187,861	110%	6,846	4,775	143%